

# 今、知っておきたい物流topics

## 荷主の物流もスゴイ！

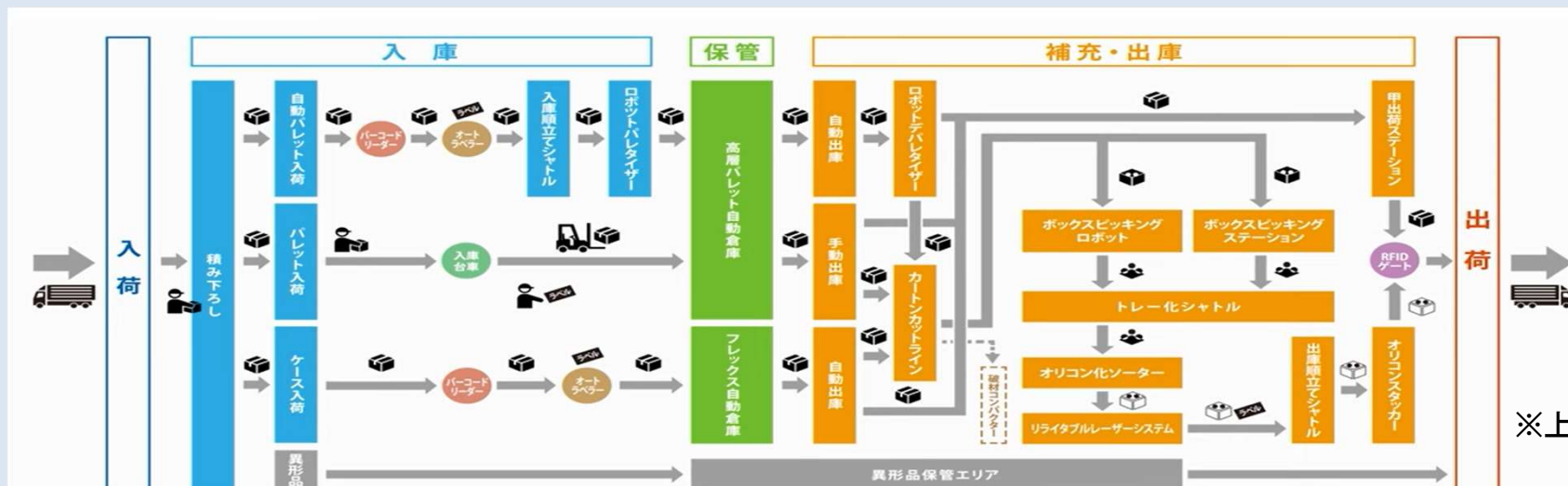
100円ショップの最大手ダイソーの物流を紹介します。大創産業のロゴは“三本の矢”なのですが、「店舗力」「商品力」とともに「物流力」を示しているそうです。ダイソーはセンター運営等、協力会社も使いますが基本的に自社物流。物流センターの倉庫総面積は25万坪に達します。新入社員は一定期間、物流現場での研修があるそうで、工事関係の通販大手トラスコ中山も同様の取組が行われていました。

物流の効率化に向けては「余計な包材を使わないとか、圧縮した形状で送るとか、組立式でなかったものを組立にしてコンテナの容積率を最大化するとか、特殊なやり方はない。一つの箱により多く乗せるか、一つの商品に対して労働生産性をいかに高めるか以外にはない」、「常に改善を続けている」等、まさに王道の取組。

日本の生産年齢人口が今後、毎年約1%減ることを踏まえ、「**自動化せざるを得ない**」との認識から2023年7月に稼働した神奈川RDCでは積極的な自動化が行われています。紹介動画、是非見てみてください

(<https://youtu.be/6BHOwl5ex20?si=ocMw6gyaSiUVxPNk>)。ロボットパレタイザーや箱の上面をカットするオートカートンカッター、出荷情報が自動印字されるリライタブルレーザーシステム等が導入されています。

スマホで誰でも店頭在庫検索ができるようにもなっており、物流力が顧客サービス向上にもなっています。



※上記動画より抜粋